

# 都市再生整備計画

なかぞのちょうしゅうへん  
中園町周辺地区(第7回変更)

山口県 やまぐち 山口市

令和8年1月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	山口県	市町村名	山口市	地区名	中園町周辺地区	面積	14	ha
計画期間	令和2年度～令和7年度	交付期間	令和2年度～令和7年度					

目標
大目標『広域交流の拠点を形成することにより、人口減少下においても都市機能誘導区域でのにぎわいと都市機能の維持を図る。』 目標1：地域医療支援病院の機能強化による利用圏域の拡大により、市民の健康的な生活を支えるための医療施設を維持する。 目標2：広域的な交流の場として中央公園の機能強化を行い、交流人口の増加を図る。
目標
令和7年2月 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ・山口市は県庁所在都市であることから、県庁をはじめとし、国の行政機関や山口大学等の高等教育機関、山口情報芸術センター等の高次都市機能が集積しており、広域的な交流の場となっている。 ・「第2次山口市総合計画」では、人口減少時代にあっても、山口都市機能誘導エリア(山口都市機能誘導区域)と小郡都市機能誘導エリア(小郡都市機能誘導区域)において、高次な都市機能の維持・集積を図ることにより、県央部の経済成長をけん引するとともに、生活関連サービスの向上を図ることとしている。また2つの都市機能誘導区域の連携やネットワークにより本市全体の活力の向上を図ることとしている。 ・「山口市コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画」(立地適正化計画)では、山口都市機能誘導区域と小郡都市機能誘導区域に高次な都市機能を集積し、拠点性を高めるとともに、都市機能誘導区域と市内にある地域の拠点とを結ぶ公共交通ネットワークを強化することで市内のあらゆる地域での暮らしを守る、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めている。 ・当地区は、立地適正化計画において、「山口市都市機能誘導区域の情報・文化ゾーン」に位置づけ、情報教育・学習機能や情報関連研究機能の集積を図り、市民が気軽にこれらの最先端技術や文化にふれ、豊かな感性や知性を育むことのできる空間とするとともに、山口都市機能誘導区域の中心部から半径1km圏域にも位置していることから、高度な医療を提供する医療機関や教育機関の集積を図ることとしている。
まちづくりの経緯及び現況
・当地区に立地する済生会山口総合病院は、地域医療支援病院としての役割を担っており、市民の健康を支える重要な高次都市機能として、今後も市内のあらゆる地域からアクセス性の高い山口都市機能誘導区域に維持すべきとしている。 ・当地区では、山口情報芸術センターや中央公園、中央図書館、情報関連企業等が集積する特徴を生かし、創造的な研究・活動を通じた人づくり・産業づくり・まちづくりを行い、新しい価値を創出し発信するとともに最先端の情報技術・文化に触れ、豊かな感性や知性を育むことができる空間作りを進めてきた。 ・中央公園は、日頃から子育て世代をはじめとし、あらゆる世代に親しまれているとともに、休日には多様なイベントを実施し、市内から多くの方が訪れている。また、新幹線の停車する新山口駅北口に整備を進めている産業交流拠点施設との連携を図り、アフターコンベンションの会場とするなど、市域を越えあらゆる人々の交流の場として活用することにより、隣接する中心商店街ゾーンや湯田温泉ゾーンへの波及効果を期待している。
課題
・当地区に立地する済生会山口総合病院は、築40年以上が経過しており、建物の老朽化が問題となっている。本市においても高齢化の進展により、医療・福祉ニーズが増大・多様化しており、これらに柔軟に対応した適切な医療が受けられる施設整備が求められている。人口減少下においても高度な医療を提供する地域医療支援病院を維持するためには、ニーズに併せた医療の多様化や機能強化による利用圏域の拡大が必要である。また、広域から利用される病院として、郊外に移転するのではなく、市外からもアクセス性の高い当地区内に立地することが望まれている。 ・当地区内の市道系米羽坂1号線は、交差点付近が未整備であることから、右折車両が滞留し後続車の通行の妨げとなっている。済生会の建替えに伴い、緊急車両の出入口が当該路線に新たに設置されることから、車両が滞留することなく通行できる道路の整備が求められている。 ・自家用車による移動に依存しがちな本市においては、高齢化社会に対応するため、公共交通機関が利用しやすい都市への転換が求められており、高次都市機能である地域医療支援病院についても公共交通でアクセスしやすい環境とする必要がある。 ・人口減少下においても、都市機能誘導区域内でのにぎわいや経済活動、都市機能を維持するために、中心商店街ゾーンや湯田温泉ゾーンと隣接する当該エリアに立地する中央公園において、各種イベント等の開催を促進し、都市機能誘導区域全体の交流人口の増加を図ることが求められている。 ・広域交流の場として利用する中央公園へのアクセスルートの一つである、市道系米羽坂1号線は、交差点付近が未整備であることから、スムーズに通過できるよう改良することが望まれている。
将来ビジョン(中長期)
【総合計画】 ・2つの都市機能誘導エリアに高次な都市機能の集積・強化を図るとともに、互いの都市機能誘導エリアの特性に応じた個性を際立たせ、連携やネットワーク化により一体化を図り、本市全体の活力を向上させる。 【立地適正化計画】 ・当地区は、「山口市都市機能誘導区域の情報・文化ゾーン」に位置し、市民が気軽に最先端技術や文化にふれ豊かな感性や知性を育むことのできる空間とするとともに、市民の利便性の向上を図る早間田交差点1km圏域に一部区域が位置していることから、都市的生活を支える医療、教育機能の集積を図る。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・立地適正化計画で定める都市機能誘導区域には、市民生活を支える都市機能の中でも、利用圏域が広域である高次都市機能を集積することとしている。当地区が属する山口都市機能誘導区域においては、地域の特性に応じたゾーン設定を行い、ゾーンの特性を高める機能の集積を図ることとしている。 ・当地区は「情報・文化ゾーン」に位置することから、市民が豊かな感性や知性を育むことのできる場として、情報教育・学習機能や情報関連研究機能の集積を図るとともに、「早間田交差点1km圏域」と一部エリアが重なることから、高次都市機能の中でも日常生活に密接に関連する医療・教育機能の集積を図ることとしている。 ・都市機能誘導区域については、公共交通でのアクセス性を向上させることとしている。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ・立地適正化計画の都市機能増進施設に位置付けている地域医療支援病院(済生会山口総合病院)が立地しており、今後も当地区に維持することとしている。 ・中央公園を広域交流の場として活用することにより、都市機能誘導区域全体の交流人口の増加を図ることとしている。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地域医療支援病院の紹介率	%	済生会山口総合病院の現在と建替え後の紹介率の比較	地域医療支援病院の機能強化(建替え)による他医療機関からの紹介率の維持	63%	H30	63%	R7
イベントの開催回数	回	中央公園内で開催されるイベントの回数	広域交流拠点としての機能強化によるイベントの開催数の増加	15回	H30	18回	R7

計画区域の整備方針	
【地域医療支援病院の機能強化による利用圏域の拡大により、市民の健康的な生活を支えるための医療施設を維持する。】 ・本市の都市機能増進施設として位置づけている地域医療支援病院の現地建替えを医療サービスの多様化・高度化と併せて行う。 ・地域医療支援病院へ向かう来院者及び救急車両のアクセス道路である、市道糸米羽坂1号線の改良により、安全でかつ円滑な移動を確保する。 ・公共交通を利用しやすい環境整備として、済生会山口総合病院の最寄りバス停を病院近くに移設する。	方針に合致する主要な事業 中心拠点誘導施設(都市再構築戦略事業):地域医療支援病院(済生会山口総合病院) 道路(都市再構築戦略事業):市道糸米羽坂1号線 関連事業:バス停の移設及び待合環境の整備
【広域交流拠点の場として中央公園の機能強化を行い、交流人口の増加を図る。】 ・交流人口の増加に繋がる各種イベントの開催が可能となるよう中央公園内の給排水設備の整備等の機能強化を行う。 ・情報芸術センター及び中央公園へのアクセス道路である、市道糸米羽坂1号線の改良により、各施設への安全でかつ円滑な移動を確保する。	公園(都市再構築戦略事業):中央公園(機能強化) 道路(都市再構築戦略事業):市道糸米羽坂1号線
その他	
都市機能拡散防止措置について 立地適正化計画(平成31年4月策定)において、本地区は「情報・文化ゾーン」および「早間田交差点1km圏域(一部)」に位置しており、それぞれの地域の特性に応じた都市機能増進施設を定めている。都市機能増進施設については、国の支援制度と併せた市の支援を行うことにより都市機能誘導区域内で立地を誘導することとしている。 また、都市機能誘導区域にアクセスする公共交通を主体としたネットワークの強化と沿線への居住の誘導を図り(居住誘導区域の設定)、都市機能誘導区域の拠点性を高め、都市機能増進施設の誘導を図ることとしている。 郊外部においては、物品販売を営む店舗または飲食店の用途に供する建築物で、床面積の合計が1500平方メートルを超える建物の立地を制限する特定用途制限地域の指定を行っている。	

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...B

1,744.0[illegible]



## 面積

14 ha

区域	项目	数量	单位	备注
第一区域	项目A	10	个	
	项目B	20	个	
	项目C	30	个	
	项目D	40	个	
第二区域	项目A	15	个	
	项目B	25	个	
	项目C	35	个	
	项目D	45	个	
第三区域	项目A	20	个	
	项目B	30	个	
	项目C	40	个	
	项目D	50	个	
第四区域	项目A	25	个	
	项目B	35	个	
	项目C	45	个	
	项目D	55	个	
第五区域	项目A	30	个	
	项目B	40	个	
	项目C	50	个	
	项目D	60	个	
第六区域	项目A	35	个	
	项目B	45	个	
	项目C	55	个	
	项目D	65	个	
第七区域	项目A	40	个	
	项目B	50	个	
	项目C	60	个	
	项目D	70	个	
第八区域	项目A	45	个	
	项目B	55	个	
	项目C	65	个	
	项目D	75	个	
第九区域	项目A	50	个	
	项目B	60	个	
	项目C	70	个	
	项目D	80	个	
第十区域	项目A	55	个	
	项目B	65	个	
	项目C	75	个	
	项目D	85	个	
第十一区域	项目A	60	个	
	项目B	70	个	
	项目C	80	个	
	项目D	90	个	
第十二区域	项目A	65	个	
	项目B	75	个	
	项目C	85	个	
	项目D	95	个	
第十三区域	项目A	70	个	
	项目B	80	个	
	项目C	90	个	
	项目D	100	个	
第十四区域	项目A	75	个	
	项目B	85	个	
	项目C	95	个	
	项目D	105	个	
第十五区域	项目A	80	个	
	项目B	90	个	
	项目C	100	个	
	项目D	110	个	
第十六区域	项目A	85	个	
	项目B	95	个	
	项目C	105	个	
	项目D	115	个	
第十七区域	项目A	90	个	
	项目B	100	个	
	项目C	110	个	
	项目D	120	个	
第十八区域	项目A	95	个	
	项目B	105	个	
	项目C	115	个	
	项目D	125	个	
第十九区域	项目A	100	个	
	项目B	110	个	
	项目C	120	个	
	项目D	130	个	
第二十区域	项目A	105	个	
	项目B	115	个	
	项目C	125	个	
	项目D	135	个	
第二十一区域	项目A	110	个	
	项目B	120	个	
	项目C	130	个	
	项目D	140	个	
第二十二区域	项目A	115	个	
	项目B	125	个	
	项目C	135	个	
	项目D	145	个	
第二十三区域	项目A	120	个	
	项目B	130	个	
	项目C	140	个	
	项目D	150	个	
第二十四区域	项目A	125	个	
	项目B	135	个	
	项目C	145	个	
	项目D	155	个	
第二十五区域	项目A	130	个	
	项目B	140	个	
	项目C	150	个	
	项目D	160	个	
第二十六区域	项目A	135	个	
	项目B	145	个	
	项目C	155	个	
	项目D	165	个	
第二十七区域	项目A	140	个	
	项目B	1		

山口市中園町，緑町の一部

